令和８年（2026 年）11 月吉日

保護者の皆様

札幌市立藤野中学校
校長　工藤　真嗣

令和８年度 全国学力・学習状況調査結果について

日頃より本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、本年度４月に実施されました標記の調査につきまして、文部科学省から届いた調査結果をもとに、本校において、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために分析を進めてまいりました。

このたび、分析結果がまとまりましたので、その概要について保護者の皆様にお知らせいたします。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解いただけますようお願いいたします。

Ⅰ　生徒質問の結果の概要

◇「人間尊重の教育」に係る質問

- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。　・・・　全国数値と同程度
- 学校に行くのは楽しいと思いますか。　・・・　全国数値と同程度
- 友人関係に満足していますか。　・・・　全国数値と同程度

◇さっぽろっ子自治的な活動に関わる質問

- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う　・・・　全国数値を下回る
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。　・・・　全国数値を下回る。

◇課題探究的な学習に関わる質問

〈主体性〉の視点

- 分からないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫している。　・・・　全国数値と同程度

〈個別探究〉の視点

- 授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていたと思う。　・・・　全国数値と同程度
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。　・・・　全国数値と同程度

〈協働探究〉の視点

- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気づいたりすることができた。　・・・　全国数値を下回る

〈リフレクション〉の視点

- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う。　・・・　全国数値と同程度

◇ＩＣＴ活用に係る質問

- パソコンやタブレットを使って、「文字を打つ」「情報の収集」「情報の整理(図や表・グラフを使ってまとめる)ことができる。　・・・　全国数値を下回る

中学校国語

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校 国語	【領域】 ■「言葉の特徴や使い方に関する事項」 →全国平均を下回っている。	●文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。	●語句の学習から文脈や意味のつながりを重視し、短文作成や推敲などの作文能力の向上を目指す。
	■「情報の扱い方に関する事項」 →全国平均を下回っている。	●情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと	●目的や状況に応じて、適切な情報の選択の仕方を身に付けられるようにする。
	■「話すこと・聞くこと」 →全国平均を下回っている。	●目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	●相手、目的、形式を明確にし、生徒自身が根拠をもって情報を扱えるようにする。
	■「書くこと」 →全国平均を下回っている。	●段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫すること。	●論理構造の理解を深め、主張や理由、具体例を意識して書くことを目指す。
	■「読むこと」 →全国平均を下回っている。	●文章を読んで理解したことに基づき、考えを確かなものにすること。	●根拠と自分の考えの違いを明確にし、自分で問いを立て直すことで多角的な視点からの読みを目指す。

記号の意味

(△)上回っている		
ほぼ同程度	(◇)やや上回っている＋３ﾎﾟｲﾝﾄ (◆)やや下回っている－３ﾎﾟｲﾝﾄ	全国平均正答率
(▼)下回ってる		

＊「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して
±３ポイントの範囲内

分類		区分	対象問題数	平均正答率 令和８年度
全体			15	▼
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	▼
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	▼
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0	
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	▼
		B 書くこと	3	▼
		C 読むこと	3	▼
評価の観点		知識・技能	6	▼
		思考・判断・表現	9	▼
		主体的に学習に取り組む態度	0	
問題形式		選択式	9	▼
		短答式	3	▼
		記述式	3	▼

中学校数学

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

中学校 数学

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 ■「数と式」 →全国平均を下回っている	●具体的な場面において、数を用いて変化や状況を表すこと	●日常生活などの具体的な場面を取り上げ、数を用いて変化や状況を表す活動の充実。
	●統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること	●数学的な表現の定着を図り、具体的な事柄の特徴をを用いて、説明し、他者と交流する活動の充実。
■「図形」 →全国平均を下回っている	●筋道を立てて考え、証明すること	●図形の性質を帰納や類推によって予想し、一般的に説明する活動の充実。
■「関数」 →全国平均を下回っている	●与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること	●表やグラフから、課題を解決するために必要な情報を、適切に読み取る活動の充実。
	●数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること	●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実。
■「データの活用」 →全国平均を下回っている	●累積度数の意味を理解しているかどうか	●データの活用領域における、基礎基本を定着させる活動の充実。
	●データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明すること	●データを分析し、その判断理由となる根拠を明確にしながら、論理的に説明する活動の充実。

記号の意味

(△)上回っている		
ほぼ同程度	(◇)やや上回っている＋３ﾎﾟｲﾝﾄ (◆)やや下回っている－３ﾎﾟｲﾝﾄ	全国平均正答率
(▼)下回ってる		

＊「ほぼ同程度」は、全国平均正答率と比較して
　±３ポイントの範囲内

分類	区分	対象問題数	平均正答率 令和８年度
全体		16	▼
学習指導要領の領域	A　数と式	5	▼
	B　図形	4	▼
	C　関数	3	▼
	D　データの活用	4	▼
評価の観点	知識・技能	12	▼
	思考・判断・表現	4	▼
	主体的に学習に取り	0	
問題形式	選択式	3	▼
	短答式	9	▼
	記述式	4	▼

中学校英語

公開問題の結果から見る、教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

【中学校英語】

中学校　英語

今回の調査における課題

【領域】

●「聞くこと」
→話されていることの概要を捉え、さらに自分に必要な情報を聞き取ったり、それを時系列に並びかえたりすることを通して、取るべき行動を判断すること。

●「読むこと」
→比較的長めな文章の内容を読み取ったり、必要な情報を把握したりすること。

●「話すこと」「やり取り」
→自分のしたいことや好きなもの、相手に勧めるものなどについて、その理由を正しく説明する技能を身に付けること。

●「話すこと」「発表」
→社会的な話題に関して聞いたことについて、自分の考えとその理由を話すこと。

●「書くこと」
→過去に起きた出来事や自分がしたいと思うことなどについて、正しい英語を書いて相手に伝えること。

改善の方向

●教科書のリスニング分野やそれ以外にも教材を用意し、まとまった英語を聞いて内容を理解する活動の充実。

●教科書の Read & Think の長文や Unit Activity において、それぞれの文に用いられている文法事項を理解し、大意を読み取る活動の充実。

●自分の意思や気持ちを伝えるだけでなく、なぜそう思うのかまで内容を深めたダイアログを、ALT の協力を得ながら、ある程度用いる語のパターンを理解し、相手と英語で話す活動の充実。

●社会的な話題を与え、それを聞いてわかった情報について、既習の表現を活用しながら、自分自身の考えや気持ちを、理由とともに相手に伝える言語活動の充実。

●様々な文法事項の仕組みを定着させ、日常的に自分の意見や昨日のことなどを書いてアウトプットする活動の充実。